社会福祉法人　宝塚いくせい会

令和５年度　事業報告書

Ⅰ　総　　括

本法人は平成24年の設立時より障害者総合支援法に基づいた就労継続支援事業、短期入所事業、宝塚市地域生活支援事業として日中一時支援事業を実施しています。また、公益事業として介護保険法による指定福祉用具の貸与、販売を就労活動として行い、数多くの利用者にサービスを提供することにより社会福祉に寄与しています。

令和５年度は、明確化された法人内在の問題の解決に向けると同時に、特定相談支援事業所の立ち上げを行い今後の発信に向けた年度でもありました。

現場・運営が周囲の要望を漫然と受け入れるだけではなく、法人理念に基づいた目標を主体的に定め、理事・評議員会と一体となった法人運営を行い、地域及び関連機関に示していく事が重要であると考えています。

Ⅱ　経　営　成　績

事業活動計算書(法人全体)

区　　分	令和５年度	令和４年度	増　　減
事業活動収益	231,964,039 円	238,473,199 円	△ 6,509,160 円
サービス活動収益	228,987,788 円	235,998,575 円	△ 7,010,787 円
うち、就労支援事業収益	106,585,827 円	105,306,302 円	1,279,525 円
うち、自立支援給付費収益	85,115,217 円	90,488,081 円	△ 5,372,864 円
うち、宝塚市受託事業収益	29,037,349 円	29,663,982 円	△ 626,633 円
サービス活動外収益	2,976,251 円	2,454,626 円	521,625 円
特別利益	円	19,998 円	△ 19,998 円
事業活動費用	241,986,005 円	229,865,133 円	12,120,872 円
サービス活動費用	240,538,335 円	228,480,822 円	12,057,513 円
うち、人件費	102,726,135 円	92,193,045 円	10,533,090 円
うち、事業費	9,957,280 円	11,474,068 円	△ 1,516,788 円
うち、事務費	16,634,114 円	15,808,919 円	825,195 円
うち、就労支援事業費用	105,745,144 円	104,695,382 円	1,049,762 円
うち、減価償却費	5,163,972 円	4,529,652 円	634,320 円
サービス活動外費用	1,447,670 円	1,368,796 円	78,874 円
特別損失	円	15,515 円	△ 15,515 円
差　　引	△ 10,021,966 円	8,608,066 円	△ 18,630,032 円

令和5年度の法人全体の経営成績は、約1000万円の赤字決算(前年比約1860万円減）になりました。

事業収益については2億3200万円（約650万円減）で、短期入所事業の自立支援給付（介護給付）費の減収(約935万円減）が大きく響きました。就労継続支援事業の自立支援給付(訓練等給付）費は増収(約282万円増）、令和5年度より開始した相談支援事業の自立支援給付(計画相談支援給付）は初年度約116万円の収益となっています。市受託事業の日中一時支援は微減(約62万円減）、就労支援事業収益については、微増（約128万円増）となっています。

事業活動費用については2億4200万円(約1200万円増）で、主には人件費（約1050万円増）の増加が大きく、他事務費（約82万円増）、就労支援費用（約105万円増）、減価償却費（約63万円増）も増加傾向にあり、事業費（主に給食費・賃借料）の減少分(約151万減）を大きく上回っています。

Ⅲ　障害福祉サービス事業等の実施

Ⅲ-1　就労継続支援A・B型事業（宝塚育成事業所）

就労継続支援A型事業については、雇用契約に基づいた生産性を求めながら、宝塚育成事業所の牽引力を期待していきます。
令和5年度は利用者11名の運営から始まり、年度内は特に大きな人事の変更はありませんでした。比較的安定した状況であるといえますが、60代以上の2名の利用者の高齢化の問題や、40～50代利用者の親の高齢化による介護の問題などが浮かび上がりつつあります。訓練等給付費(支援費）については、昨年度より基本報酬区分が上がり（615単位→643単位）、増収となりました。

就労継続支援B型については地域に根差した生産活動を行いながら、就労継続支援A型などからの高齢化に伴う移行や、他施設（生活介護施設、就労継続支援B型、入所施設）からの若い年代の受け入れを行い、社会人、職業人としての自己意思決定などの支援を行っています。
個別性の高い利用者については機関との連携を行いながら適正な支援を行います。
令和5年度は、定員15名に対して16名で運営を開始、3月に若年性アルツハイマ―の利用者が加わり、17名の利用になっています。60代の利用者の高齢化対応として共生型(生活介護・通所介護）との併用で週3の利用が1名、他に週1の利用が1名、利用時間を減らしながら共生型の利用を検討している利用者が1名います。
一方で生活介護からの就労継続支援B型利用を始めた30代の利用者2名が就労継続支援A型に向けて内部昇格候補に挙がるなど、若い世代の就労支援の効果も出てきています。

（1）運営状況及び訓練給付費の状況

区　分		令和５年度	令和４年度	増減
A　型	定員	12 人	12 人	人
	契約人数	11 人	11 人	人
	年間開設日数	240 日	239 日	1 日
	訓練給付費	23,787,307 円	22,183,169 円	1,604,138 円
B　型	定員	15 人	15 人	人
	契約人数	17 人	16 人	1 人
	年間開設日数	240 日	239 日	1 日
	訓練給付費	30,355,670 円	29,140,658 円	1,215,012 円
訓練等給付費合計		54,142,977 円	51,323,827 円	2,819,150 円

（2）就労支援事業の実施事業

①　生産活動業務

【就労継続支援A型】
・　介護保険適用福祉用具貸与事業(契約件数　479件(3月現在））、福祉用具販売事業
・　宝塚市公園維持管理業務（A･B型間での作業分担明確化）
・　福祉用具の消毒作業の受託（A･B型間での作業分担明確化）

【就労継続支援B型】
・　介護保険適用外福祉用具貸与事業(契約件数　506件(3月現在））、福祉用具販売事業
・　宝塚市公園維持管理業務（A･B型間での作業分担明確化）
・　福祉用具の消毒作業の受託（A･B型間での作業分担明確化）
・　軽作業の受託
・　就労継続支援A型事業からの福祉用具消毒作業の受託

② 就労支援事業収支の状況

区　分		令和５年度	令和４年度	増減
Ａ　型	収　益	83,500,841 円	84,518,115 円	△ 1,017,274 円
	費　用	83,201,383 円	84,047,093 円	△ 845,710 円
	差　引	299,458 円	471,022 円	△ 171,564 円
Ｂ　型	収　益	23,084,986 円	20,788,187 円	2,296,799 円
	費　用	23,005,375 円	20,648,289 円	2,357,086 円
	差　引	79,611 円	139,898 円	△ 60,287 円
合　計	収　益	106,585,827 円	105,306,302 円	1,279,525 円
	費　用	106,206,758 円	104,695,382 円	1,511,376 円
	差　引	379,069 円	610,920 円	△ 231,851 円

就労収益については、合計では微増の成績でした(前年比101.2%)。就労継続支援A型での貸与事業は顧客数の伸び悩みなどにより減収でしたが、販売事業や受託加工事業が増収でした。令和5年度の就労会計は就労継続支援A型で約30万円、就労継続支援B型で約8万円の黒字になり、就労継続支援A型・B型共に設備等整備積立金に、積み立てることにしました。

③ 賃金及び工賃の状況

区　分		令和５年度	令和４年度	増減
A型	人　数	11 人	11 人	人
	最賃適用者	7 人	6 人	1 人
	賃金総額	14,267,481 円	13,478,350 円	789,131 円
	平均月額賃金	108,087 円	102,109 円	5,978 円
B型	人　数	17 人	16 人	1 人
	工賃総額	7,206,408 円	6,947,210 円	259,198 円
	平均月額工賃	37,337 円	37,963 円	△ 626 円
	*新算定方式	40,989 円	40,477 円	512 円

＊令和5年度まで・・・工賃総額を支払い対象者の総数で割って算出。
＊令和6年度より・・・一日当たりの平均利用者数を算出し、一人当たりの平均工賃月額を算出。

就労継続支援A型は、平均賃金については最低賃金適用者の増加(6名→7名)や10月の最低賃金額の上昇（960円→1001円）により増加し、平均月額賃金は10万円代の後半になっています。

就労継続支援B型の平均月額工賃については、高齢利用者や、個別対応利用者などで、令和5年度までの平均月額工賃算出方式では減少しましたが、令和6年度の報酬改定から採用される一日当たりの平均利用者数を用いた新しい算出方式では、10月の基礎給を変更（850円/日→900円/日）などの効果により、約500円の増額となっています。

(3) 職員配置状況

区　分	正規(嘱託)職員	臨時職員	合計
管理者	1(兼務)		1
サービス管理責任者	1(兼務)		1
生活支援員	4		4
職業指導員	4	3	7
目標工賃達成指導員 賃金向上指導員	2		2
事務員	1	1	2
合　計	12	4	16

令和6年3月31日現在

Ⅲ-2　単独型短期入所事業（安倉ホーム・来夢）

今年度は課題となっています短期入所事業のあり方について、関係機関との意見交換等を通じて、方向性を模索し、令和6年度中には事業の縮小等を行うかどうかの判断を行うこととしています。

事業そのものは、同事業を実施する事業所もかなり増えてきたこともあり、利用者数の減少は見られますが、現在、安倉ホーム、来夢を利用されているご利用者からの事業の存続希望に対しては、丁寧な説明を行いながら事業のありかたについて検討を続けます。

(1)　短期入所運営状況

【安倉ホーム1　（男性対応）】

区　分	令和５年度	令和４年度	増減	備考
定　員	4　人	4　人	人	
年間開設日	226　日	240　日	△ 14　日	
年間利用者(実数)	17　人	17　人	人	
年間延べ利用者	532　人	673　人	△ 141　人	
平均利用者数/日	2.4　人/日	2.8　人/日	-0.4　人/日	

【安倉ホーム2　（男性対応）】

区　分	令和５年度	令和４年度	増減	備考
定　員	4　人	4　人	人	
年間開設日	137　日	239　日	△ 102　日	
年間利用者(実数)	14　人	18　人	△ 4　人	
年間延べ利用者	305　人	596　人	△ 291　人	
平均利用者数/日	2.2　人/日	2.5　人/日	-0.3　人/日	

【来夢(女性対応）】

区　分	令和５年度	令和４年度	増減	備考
定　員	4　人	4　人	人	
年間開設日	220　日	186　日	34　日	
年間利用者(実数)	18　人	18　人	人	
年間延べ利用者	448　人	441　人	7　人	
平均利用者数/日	2.0　人/日	2.4　人/日	-0.4　人/日	

(2)　介護給付費の状況

区　分	令和５年度	令和４年度	増減	備考
安倉ホーム	19,401,951　円	28,810,372　円	△ 9,408,421　円	
来夢	10,408,396　円	10,353,882　円	54,514　円	
合　計	29,810,347　円	39,164,254　円	△ 9,353,907　円	

(3) 職員配置状況

区　分	正規(嘱託)職員	臨時職員	合計
管理者	2(生活支援員と兼務)		
生活支援員	3		3
調理員 （安倉ホーム、来夢）		4	4
合　計	3	4	7

令和6年3月31日現在

Ⅲ-3　日中一時支援事業（つばさ）

令和5年度は正規職員3名とアルバイト職員の体制が整い、事業のさらなる充実に向けての取り組みがスタートしました。職員の育児休暇中にもいくせい会職員のサポートなどで事業の継続に努めました。

また、今年度末には正職1名の退職もあり、体制に不安要素も出ていますが、早急な職員確保等により事業の再構築を進めます。

(1)　日中一時支援運営状況

区　分	令和５年度	令和４年度	増減	備考
定員	15　人	15　人	人	
年間開設日	236　日	242　日	△ 6　日	
年間利用者(実数)	766　人	686　人	80　人	
学齢児童	390　人	348　人	42　人	
成人(18歳以上)	376　人	338　人	38　人	
年間延べ利用者	3,131　人	3,131　人	人	
学齢児童	1,497　人	1,497　人	人	
成人(18歳以上)	1,634　人	1,634　人	人	
年間延べ利用時間	14,009　時間	14,597　時間	△ 588　時間	
学齢児童	6,852　時間	7,392　時間	△ 540　時間	
成人(18歳以上)	7,157　時間	7,205　時間	△ 48　時間	
平均利用者数/日	13.2　人	12.9　人	0.3　人	

※ここでいう成人とは18歳以上をいい、通常、自己負担金が0円となる利用者です

(2)　受託事業収益の状況

区　分	令和５年度	令和４年度	増減	備考
宝塚市受託事業収益	29,037,349　円	29,663,982　円	△ 626,633　円	
利用者負担金収益	2,575,805　円	3,147,948　円	△ 572,143　円	
合　計	31,613,154　円	32,811,930　円	△ 1,198,776　円	

(3) 職員配置状況

区　分	正規(嘱託)職員	臨時職員	合計
管理者	1(他事業と兼務)		1
生活支援員	3	6	9
合　計	4	6	10

令和6年3月31日現在

Ⅲ-4　指定特定相談支援事業（相談支援事業所　いくせい）

障害福祉サービスの利用申請に当たり、サービス等利用計画についての相談などの支援を行うとともに、サービス事業者等の関係機関との連絡調整などの支援を行います。

令和5年10月より開始した相談支援事業ですが新規ケースはほぼなく、ほとんどが他事業所からの移管ケースになります。今後の障害児への対応などを考えて、急激な件数増を目指さず、徐々に増やしていく方針をとっています。

(1)　相談支援事業　運営状況

区　分	令和5年度(10月～3月)				令和4年度				備考
	人数		障害種別		人数		障害種別		
利用者数	男性	27 人	知的	33　人	男性	人	知的	人	
	女性	10 人	精神	4　人	女性	人	精神	人	
計		37 人		37 人		人		人	

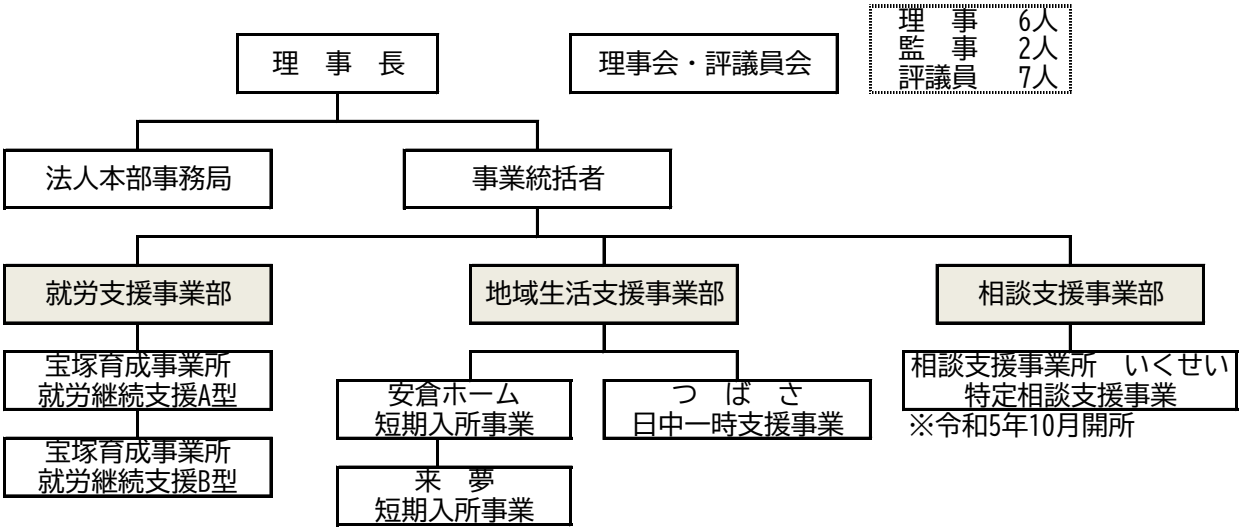
(2)　介護給付費の状況

区　分	令和5年度(10月～3月)	令和4年度	増減	備考
相談支援事業所　いくせい	1,161,893　円	-　円	1,161,893　円	

	令和5年度
配置人員	1
管理者	1(兼務)
相談支援専門員	1

Ⅳ　法人の状況及び運営等

Ⅳ-1　法人の組織



Ⅳ-2　職員の状況

区分	令和5年3月31日	雇用(4月1日を含)	退職(3月31日を含)	令和6年4月1日
正規職員	15 人	2 人	2 人	15 人
男性	7 人	1 人	1 人	7 人
女性	8 人	1 人	1 人	8 人
嘱託職員	5 人	2 人	人	7 人
男性	3 人	人	人	3 人
女性	2 人	2 人	人	4 人
臨時職員	12 人	2 人	人	13 人
男性	5 人	人	人	5 人
女性	7 人	2 人	1 人	8 人
合計	32 人	6 人	2 人	35 人
男性	15 人	1 人	1 人	15 人
女性	17 人	5 人	2 人	21 人

区分	30歳未満	30歳以上40歳未満	40歳以上50歳未満	50歳以上60歳未満	60歳以上65歳未満	65歳以上	計
正規職員	2	2	2	9			15 人
男性		1	1	5			7 人
女性	2	1	1	4			8 人
嘱託職員	1		1		1	4	7 人
男性						3	3 人
女性	1		1		1	1	4 人
臨時職員		4		3	2	4	13 人
男性		4		1		1	6 人
女性				2	2	3	7 人
合計	3	6	3	12	3	8	35 人
男性		5	1	6		4	16 人
女性	3	1	2	6	3	4	19 人

令和6年4月1日現在

Ⅳ-3　役員等の選任状況

①役員(理事及び監事)

選任日	令和5（2023）年6月30日　定時評議員会	
任　期	（自）令和5（2023）年6月30日 （至）令和7（2025）年6月開催の定時評議員会終結時まで	
1　理　事	浅山（あさやま）　みゆき	一般社団法人　宝塚市手をつなぐ育成会前会長
2　理　事	植戸（うえと）　貴子（たかこ）	神戸女子大学　健康福祉学部　社会福祉学科　教授
3　理　事	小原（おはら）　正義（まさよし）	社会福祉法人　宝塚いくせい会　事業統括者
4　理　事	小原（こはら）　冷子（れいこ）	社会福祉法人　阪神福祉事業団　評議員
5　理　事	龍見（たつみ）　正範（まさのり）	宝塚市民生委員・児童委員連合会　常任理事
6　理　事	松下（まつした）　祐介（ゆうすけ）	社会福祉法人　宝塚いくせい会　宝塚育成事業所長
1　監　事	高橋（たかはし）　千明（ちあき）	高橋会計事務所　税理士
2　監　事	山本（やまもと）　信也（しんや）	社会福祉法人　宝塚市社会福祉協議会　地域支援部長

（敬称略、五十音別）

②評議員

選任日	令和2（2020）年6月23日　評議員選任・解任委員会	
任　期	（自）令和2（2020）年6月23日 （至）令和6（2024）年6月開催の定時評議員会終結時まで	
1　評議員	今北（いまきた）　さゆり	一般社団法人　宝塚市手をつなぐ育成会会長
2　評議員	久保（くぼ）　明子（あきこ）	有限会社クルーズ　代表
3　評議員	辻井（つじい）　善弘（よしひろ）	社会福祉法人　宝塚さざんか福祉会　常務理事
4　評議員	西田（にしだ）　弓子（ゆみこ）	宝塚市民生委員・児童委員連合会
5　評議員	紅山（べにやま）　修（おさむ）	神戸親和大学　教育学部　児童教育学科 教授
6　評議員	山田（やまだ）　精一（せいいち）	社会福祉法人　聖隷福祉事業団　執行役員
7　評議員	米田（よねだ）　直人（なおと）	一般財団法人　宝塚市保健福祉サービス公社　管理部長.

（敬称略、五十音別）

Ⅳ-4　理事会及び評議員会の開催状況

会議の名称	第1回理事会
開催日時	令和5（2023）年5月31日(水)　14：00～
開催場所	宝塚育成事業所
出席者数	理事6名中6名出席　監事2名出席
議　題	第1号議案　令和4年度事業報告及び決算に係る計算書類等の承認について 第2号議案　定款の一部改正及び新規事業の創設について 第3号議案　次期役員候補者の選出について 第4号議案　評議員会の招集について

会議の名称	評議員会(定時評議員会)
開催日時	令和5（2023）年6月30日(金)　13：30～
開催場所	宝塚育成事業所
出席者数	評議員7名中5名出席(紅山評議員・山田評議員欠席)　監事1名出席（高橋監事欠席）
議　題	第1号議案　令和4年度事業報告及び決算の承認について 第2号議案　次期役員候補者の選任について 第3号議案　定款の一部改正について

会議の名称	第2回理事会
開催日時	令和5（2023）年6月30日(金)　15：30～
開催場所	宝塚育成事業所
出席者数	理事6名中6名出席　監事1名出席（高橋監事欠席）
議　題	第1号議案　理事長の選定について その他　　宝塚いくせい会について

会議の名称	第3回理事会
開催日時	令和5（2023）年8月23日(水)　14：00～
開催場所	宝塚育成事業所
出席者数	理事6名中6名出席　監事1名出席（高橋監事欠席）
議　題	第1号報告　定款の一部変更について 第2号報告　令和5年度第1四半期業務執行状況について

会議の名称	第4回理事会
開催日時	令和5（2023）年11月28日(水)　14：00～
開催場所	宝塚市総合福祉センター
出席者数	理事6名中5名出席（植戸理事欠席）　監事2名出席
議　題	第1号議案　社会福祉法人宝塚いくせい会　法人会計経理規程の一部改正について 第2号議案　社会福祉法人宝塚いくせい会　定款細則の一部改正について 第1号報告　令和5年度第2四半期業務執行状況について

会議の名称	第5回理事会
開催日時	令和5（2023）年3月21日(木)　14：00～
開催場所	宝塚市総合福祉センター
出席者数	理事6名中5名出席（植戸理事欠席）　監事2名出席
議　題	第1号報告　令和5年度第3四半期業務執行状況について 第2号報告　理事長の専決処分について 第1号議案　令和6年度事業計画及び資金収支予算(当初予算)について 第2号議案　障害福祉サービス事業及び相談支援事業に係る運営規程改正について 第3号議案　社会福祉法人宝塚いくせい会　施設長等の任命について

Ⅳ-5　内部会議・委員会・研修　外部研修　参加状況

定例の事業運営会議、業務改善委員会に加えて、3月に虐待防止委員会の開催を行いました。
また、令和5年度の法人全体研修の実施については、業務改善委員会参加の現場職員が企画運営を行い、8月と2月の2回開催いたしました。

外部研修については、就労継続支援、日中一時、相談支援から、様々な形式の研修に参加しました。

①主な内部会議・委員会・研修　参加状況

会議の名称	社会福祉法人　宝塚いくせい会　事業運営会議
開催日時	隔週開催(月2回)
開催場所	宝塚育成事業所
出席者	理事長　事業統括　事業所長
議題	事業運営についての協議 社会福祉法人監査・法人経営分析・法人賃金分析について

会議の名称	社会福祉法人　宝塚いくせい会　業務改善委員会
開催日時	隔週開催（月2回）
開催場所	宝塚育成事業所
出席者	理事長　事業統括　事業所長　宝塚育成事業所・日中一時職員3名
議題	法人全体研修　企画・運営 業務継続計画・その他業務についての協議など

研修の名称	社会福祉法人　宝塚いくせい会　法人全体研修　（内部研修）
開催日時	令和5年8月11日
開催場所	宝塚市総合福祉センター　大ホール
出席者	法人職員(直接支援職員）24名
議題	前年度の研修から、実際に行動として変わったところ（GW） 虐待通報義務とｅラーニングの活用について

研修の名称	社会福祉法人　宝塚いくせい会　法人全体研修　（内部研修）
開催日時	令和6年2月11日
開催場所	宝塚市総合福祉センター　201・202
出席者	宝塚いくせい会　法人職員35名
議題	小原事業統括講演～私が障害者福祉の現場へ入った動機についての一考察 法人理念から具体的な職務を考える（GW）

会議の名称	社会福祉法人　宝塚いくせい会　虐待防止委員会
開催日時	令和6年3月1日
開催場所	宝塚育成事業所
出席者	委員長(事業統括)　副委員長(事業所長)　委員(就労継続支援･福祉用具貸与･日中一時支援･短期入所)
議題	会議の目的と資料の確認・共有 各部門課題の報告と改善策について

研修の名称	宝塚育成事業所　全体ミーティング　（内部研修）
開催日時	隔月実施　（全5回）
開催場所	宝塚育成事業所
出席者	宝塚育成事業所職員　16名
議　題	新しい職員さんに教えてもらおう 利用者ケース共有 〇〇さんはどんな気持ちで働いているか、本人になりきってみよう（GW）。 外部研修報告、外部発表報告 他己紹介、業務上の強み　助けてほしいと思うこと（GW） 令和5年度振り返り、令和6年度計画について

②主な外部研修　参加状況

研修の名称	バリアフリー展
開催日時	令和5年4月20日
開催場所	インテックス大阪
出席者	宝塚育成事業所　2名

研修の名称	福祉用具専門相談員研修(計7回)
開催日時	令和5年5月～6月
開催場所	神戸
出席者	宝塚育成事業所　1名

研修の名称	合同会社コスモ　放課後デイサービス事例発表会
開催日時	令和5年6月30日
開催場所	ピピアめふ　和風ホール
出席者	つばさ　1名

研修の名称	兵庫県知的障害者施設協会　人材確保セミナー
開催日時	令和5年9月22日
開催場所	兵庫県福祉センター
出席者	宝塚育成事業所　1名

研修の名称	国際福祉機器展
開催日時	令和5年9月28日
開催場所	国際展示場
出席者	宝塚育成事業所　1名

研修の名称	千葉県習志野市あかね園　視察
開催日時	令和5年9月29日
開催場所	千葉県習志野市あかね園
出席者	宝塚育成事業所　1名

研修の名称	日本財団ダイバーシティ研修
開催日時	令和5年10月2日
開催場所	オンライン
出席者	宝塚育成事業所　2名

研修の名称	強度行動障害研修
開催日時	令和5年11月2日
開催場所	宝塚市中央公民館
出席者	宝塚育成事業所　2名　つばさ　1名　相談支援事業所いくせい　1名

研修の名称	ゲートキーパー研修
開催日時	令和5年11月9日
開催場所	宝塚市役所
出席者	相談支援事業所いくせい　1名

研修の名称	宝塚市手をつなぐ育成会　成人部会
開催日時	令和5年12月8日
開催場所	総合福祉センター
出席者	宝塚育成事業所　2名　つばさ　1名

研修の名称	就労支援フォーラム2023
開催日時	令和5年12月16日
開催場所	ベルサール渋谷ファースト
出席者	宝塚育成事業所　2名

Ⅳ-6　協議会・発表・企画運営　参加状況

　社会福祉法人として地域との連携は不可欠なものとして、様々な形の協議体に参加を行い、協議体での研修や展示会などの企画運営も積極的に行う様にしています。

　発表等については、地域での活動に加えて人材確保や学齢期の繋ぎ、介護・医療の繋ぎなど多様なテーマで発信しました。

①主な協議会等　参加状況

協議会の名称	宝塚市自立支援協議会　しごと部会
開催日時	隔月実施（奇数月）
開催場所	宝塚市役所・宝塚市中央公民館など
出席者	宝塚育成事業所　所長（副部会長）

協議会の名称	宝塚市社会福祉法人連絡協議会
開催日時	毎月実施
開催場所	宝塚市総合福祉センター　他
出席者	宝塚育成事業所　所長(副代表　障害代表）宝塚育成事業所　職員（地域貢献部会）

協議会の名称	宝塚市介護保険事業者協会
開催日時	隔月実施
開催場所	ZOOM開催
出席者	宝塚育成事業所　職員

協議会の名称	宝塚市共同受注窓口連絡会
開催日時	毎月実施
開催場所	宝塚育成事業所
出席者	宝塚育成事業所　所長　（理事）

②主な発表・講演など　参加状況

発表の名称	合同会社コスモ　放課後デイサービス事例発表会　（コメンテーター）
開催日時	令和5年6月30日
開催場所	ピピアめふ　和風ホール
出席者	宝塚育成事業所　職員
議　題	放課後デイサービスでの活動事例に対して、就労継続支援施設としてコメント

発表の名称	宝塚市手をつなぐ育成会　本人部会(講師)
開催日時	令和5年8月26日
開催場所	宝塚市総合福祉センター
出席者数	宝塚育成事業所　所長
議　題	はたらくってなんだろう

発表の名称	ドコモ・プラスハーティ　又村あおいのオンラインサロン(出演)
開催日時	令和5年9月4日
開催場所	東京都千代田区
出席者数	宝塚育成事業所　所長
議　題	障害福祉サービスから介護保険サービスへの移行、あるいは併用の実際について

発表の名称	兵庫県知的障害者施設協会　人材確保セミナー　（パネリスト）
開催日時	令和5年9月22日
開催場所	兵庫県福祉センター
出席者数	宝塚育成事業所　職員
議　題	就職活動のことを新任職員に聞いてみた！ 今の職場を選んだ決め手は？など

発表の名称	宝塚市手をつなぐ育成会　成人部会(講師)
開催日時	令和5年12月8日　令和6年2月16日
開催場所	宝塚市総合福祉センター
出席者	宝塚育成事業所　所長
議　題	宝塚育成事業所での高齢障がい者対応の実践と実情 ケアマネジャーをお迎えしての高齢障がい者の対応について

発表の名称	宝塚市第２地区ネットワーク会議(講師)
開催日時	令和6年2月10日
開催場所	ドリーム末広(末広小学校)
出席者	宝塚育成事業所　所長
議　題	地域で暮らすというコト 福祉用具貸与事業を通じた、地域づくりと啓発について

③主な企画運営　参加状況

企画の名称	地域貢献部会　サマーフェスタ参加（宝塚市法人連絡協議会）
開催日時	令和5年8月7日
開催場所	末広中央公園
出席者	宝塚育成事業所　所長　職員
議　題	サマーフェスタでの地域貢献部会出展　企画・当日運営など

企画の名称	宝塚市障碍福祉サービス合同事業者説明会　企画運営（宝塚市自立支援協議会）
開催日時	令和5年9月10日
開催場所	宝塚市中央公民館
出席者	宝塚育成事業所　所長
議　題	合同事業者説明会　企画・当日運営など

企画の名称	宝塚市障碍者運動会　企画運営（宝塚市共同受注窓口）
開催日時	令和5年11月19日
開催場所	宝塚市スポーツセンター
出席者	宝塚育成事業所　職員
議　題	宝塚市障碍者運動会　企画・当日運営など

企画の名称	宝塚市地域福祉研修　企画運営(宝塚市法人連絡協議会)
開催日時	令和5年12月7日
開催場所	宝塚市総合福祉センター
出席者	宝塚育成事業所　職員
議　題	地域福祉研修　企画・当日運営　ファシリテーター参加など

企画の名称	宝塚市福祉用具展示会　企画運営（宝塚市介護保険事業者協会）
開催日時	令和6年2月14日
開催場所	宝塚市総合福祉センター
出席者	宝塚育成事業所　職員
議　題	福祉用具展示会　企画・当日運営など

企画の名称	障がいと介護の連携支援会議（宝塚育成事業所主催）
開催日時	隔月実施　（全6回）
開催場所	宝塚市総合福祉センター
出席者	宝塚育成事業所　所長　職員
議　題	障害サービスを中心とした介護・医療サービスとの支援連携・検討について 厚生労働者社会保障審議会　障害者部会　総合支援法見直しについて 利用者の親の高齢化から、連携の繋がりを作る 65歳時点での介護保険認定は、強制ではない ダウン症等、遺伝子の変化による症候群の介護・医療への繋ぎについて

Ⅳ-6　中長期計画の取り組み

令和３年度に策定した中長期計画については、運営会議で具体的な取り組みに置き換え実施している所です。業務改善委員会や事業運営会議、理事会、評議員会の際にその進捗状況を確認していく事で、継続的な事業改善を図っていきます。改善が図れた点や、課題点が浮き彫りになった点をそれぞれ洗い出していきながら、今後のビジョンを示せるようにしていきます。

重点取組み項目の進捗状況　　令和４年度～令和５年度

中項目	課　題	具体的取り組み	状　況
組織体制	内部管理体制	運営会議の実施	令和4年6月より月2回の定期的な実施を行う。
		業務改善委員会の実施	令和4年7月より月2回の定期的な実施を行う。
		総務機能の連携強化	令和5年6月より福祉経営コンサルティングと契約、経営分析、社会福祉法人監査対応などを行う。 令和6年度に社会保険労務士と契約予定。 すでに契約を行っている顧問税理士との連携強化を行う。
人事	人材確保	広報の強化 養成校連携 中途採用の情報取得	法人HPの再作成を行った。 令和4年度 採用4(新卒1)名　(日中一時2名　就労継続支援2名) 退職2名　(短期入所1名　日中一時支援1名) 令和5年度 採用3(新卒1)名　(特定相談1名　就労継続支援1名) 退職2名　(短期入所1名　日中一時支援1名) 養成校の実習受入は今年度も実施(2大学、計3回)。
安定した経営	稼働率、契約者	現状の稼働率の分析	稼働率について、分析を行い共有できるだけの、職員の意識の向上を図る必要がある。
	財務処理能力	資産・収支状況の確認	現在の税理士との顧問契約に加え、福祉経営コンサルティングの契約を行った。
障害サービス	短期入所事業	事業再編について 事業のあり方の見直し	各関連機関などの協力を仰いで、「短期入所事業のあり方検討委員会」を令和5年度より実施。令和5年7月に中間報告をまとめる。勤務体制や事業規模などについて検討を行い、令和6年中に方針の決定を行う。
	日中一時支援事業	日中一時支援事業の再編	令和5年4月と9月に臨時職員より正規職員採用を行い、職員2名が業務改善委員会に参加をする中で強化点や改善点などの洗い出しを行う。
権利擁護	虐待防止の意識向上	法人全体研修の実施など	法人全体研修として2月と8月に虐待防止研修を実施。
	ハラスメント対応強化	職員面談・アンケートの実施	職員面談・アンケート共に未実施。
理念の理解	研修・サービス管理の充実	職員面談の実施 研修計画の作成	業務改善委員会にて、法人全体研修の実施を行う。
支援力の向上		職員研修の実施	ｅラーニングの導入を令和５年10月より実施。 業務改善委員会で有効的な運用方法を検討。
	情報の共有	データベース システムの検討	サーバPCを利用した情報共有を行えるように令和5年度にネット環境を構築した。

それ以外の項目の進捗状況(抜粋)　令和４年度～令和５年度

中項目	課　題	具体的取り組み	状　況
安定した事業経営	BCP計画の策定	他法人・機関の作成を参考に計画を策定	令和5年度中に策定を行った。
	市建物無償譲渡物件	宝塚市との窓口の確認	市、法人それぞれの窓口担当の確認を行い、令和6年度から定期的な交渉を行う予定。
組織体制の確立	次期幹部部職員の育成	第5期での次期幹部職員の登用を検討	令和6年度中に具体的な組織改編を見据え、運営会議等で検討を進める。
人事	人事給与面の検討	評価方法・給与制度の研究実施	令和5年度に契約した福祉経営コンサルティングの協力を得ながら、キャリアパスフレーム・俸給表・昇格基準・昇進要件の見直しを行う予定。
事業分析	新規事業の検討	ニーズの検討	令和5年10月に特定相談支援事業の立ち上げを行った。また、学齢期・高齢期の繋ぎの為の支援の必要性も認識した。
地域貢献事業	地域貢献事業の発信	保険適用外事業の発信	市内地区会議などやフォーラムでの発信を行った。
介護サービス	福祉用具専門相談員の確保	福祉用具専門相談員の増員	令和5年度入職の新卒職員を福祉用具専門相談員として配置を行った。
法人間連携	法人間の連携	宝塚市手をつなぐ育成会	年4回ほど定期的な情報交換を検討。
		宝塚さざんか福祉会	定期的な情報交換を検討。
		宝塚市社会福祉協議会	運営のアドバイスなどで連携を深めていく。
		その他の団体	自立支援協議会・法人連絡協議会・共同受注窓口など

Ⅳ-7　その他の取り組み

時　期	項　　目
4月	宝塚育成事業所　見学　（宝塚さざんか福祉会新任職員）
5月	宝塚育成事業所　消防点検 宝塚育成事業所　避難訓練 つばさ　見学　（宝塚市立児童福祉 療育センター やまびこ学園） 宝塚育成事業所　安倉ホーム　来夢　つばさ　害虫駆除作業
6月	宝塚育成事業所　安倉ホーム　来夢　宝塚市生きがい・就労トライアル　事業者説明会 宝塚育成事業所　体験実習受入（6月19日～6月23日）
7月	宝塚いくせい会　健康診断 宝塚育成事業所　ハッピーデー(阪神甲子園球場)
8月	宝塚育成事業所　安倉ホーム　来夢　宝塚市生きがい・就労トライアル　説明会
9月	宝塚育成事業所　見学　（宝塚市第２地区ネットワーク会議 委員） 宝塚育成事業所　一泊旅行(9月14日・15日　鳥取県)
11月	宝塚育成事業所　ハッピーデ―（スポーツセンターでＢＢＱ） 宝塚育成事業所　インフルエンザ予防接種 宝塚育成事業所　宝塚市障碍者運動会参加(希望者) 宝塚育成事業所　体験実習受入（11月1日～11月2日） 宝塚育成事業所　避難訓練
12月	宝塚育成事業所　トライやるウィーク受入（12月4日～12月8日） 宝塚育成事業所・つばさ　園田学園女子大学保育実習Ⅲ受入（12月11日～12月23日） 宝塚育成事業所　忘年会(こむの事業所にて開催)
1月	宝塚育成事業所　ハッピーデ―（ボウリング））
2月	宝塚育成事業所・つばさ　甲子園短期大学保育実習Ⅰ受入（2月8日～2月22日） 宝塚育成事業所・つばさ　園田学園女子大学保育実習Ⅰ受入（2月26日～3月8日）
3月	法人本部　社会福祉法人監査(宝塚市地域福祉課) 宝塚育成事業所　見学　（宝塚市自立支援協議会　くらし部会） 宝塚育成事業所　避難訓練